

高瀬神社 社報

越中一宮



～いざ初詣 今年はゆっくり参ろう～

令和3年の初詣は2月の節分までとしています 混雑を避け 感染防止対策に十分にご留意いただき お気をつけてご参拝下さいますようお願い申し上げます

第68号

越中一宮高瀬神社

令和3年1月1日

<https://www.takase.or.jp/> 撮影：南部スタジオ

辛丑の年頭にあたり

宮司 藤井秀嗣

明けましておめでとうござい
ます

令和三年のお正月を迎え、
皇室の弥栄、国家の隆昌、氏子
崇敬者各位のご多幸をお祈り申
し上げます。

昨年は秋篠宮皇嗣殿下の立皇
嗣の礼が行われ、御即位に関わ
る全儀式を終えられました。コ
ロナ禍ということもあり、四月
から十一月に延期されました
が、無事に肅行されましたこと
は、誠にお目出度いことであり
ました。

昨年四回発行した社報全号
で、コロナウイルスについて触
れており、一年中悩まされてい
たことがわかります。今号にも
諸祭典、諸行事が感染拡大防止
のために縮小して開催されたとい
う記事が並んでいます。年末
年始も感染拡大は一向に収まる
気配がありません。いつまでこ

の不安で、不自由な生活が続く
のでしょうか。一日も早い終息
を願ってやみません。

自粛、縮小、延期、中止と暗
い話題で明け暮れた一年間。少
しでも明るい話題を提供しよう
と、ステイホームを楽しく過ご
してもらうために、アマビエの
塗り絵をつくりました。また、
疫病を散らす風が吹くように願
い、風鈴や風車をたくさん飾る
など、ご参拝の皆さんが少しで
も明るい気持ちでお帰りいただけ
るように、職員で話し合い、実
施しました。今年も知恵を出し
合い、協力し合って、どのように
したら良いか思案しています。

さて、今年は丑年です。ウシ
は昔から人の傍にいて、農耕を
中心に大事な労働力であり、生
活を助けてくれるありがたい存
在でした。ゆっくりした動作で
すが、大人しく黙々と仕事をこ
なす姿から誠実、着実といわれ

ます。天神様や大国様のお使い
として至誠の象徴であり、神社
にも関わりの深いウシ。福島県
会津地方に伝わる「赤ベコ」
は、痘瘡除けの御守でした。ウ
シには疫病から身を護る力があ
るといわれています。痘瘡は天
然痘のことで、不治の病と恐れ
られたウイルスですが、ベコの
歩みのごとく一歩一歩、歩みを
進め、長い時間をかけて人類が
初めて撲滅に成功した感染症で
す。現在は、その頃より格段に
医療技術が進歩しています。今
回の感染症においても必ずや確
実な治療法、終息方法が確立さ
れると信じています。

今年も当分の間、コロナ対策
をしなければなりません。不自
由な生活にイライラしないで、
干支の「丑」にあやかり、大ら
かな気持ちで、「新しい生活様
式」を誠実に実践して、コロナ
禍が過ぎ去る日にむけて、ゆっ
くり着実に歩みを進めたいもの
です。

本年もどうぞ宜しくお願い申
し上げます。

謹賀新年

令和三（辛丑）年
皇紀二六八一年

名誉宮司 藤井秀弘

宮司 藤井秀嗣

禰宜 藤井典弘

長谷川宏幸

権禰宜 岩田智典

魚岸一弥

巫女 山田瑠菜

五反日乃

米田亜依

畠山愛梨

中井直美

平野加奈

辻 百華

嘱託 上口友子



祭事暦

例祭(大祭)



九月十三日午前十時、例祭並びに地域の英霊をお祀りする功霊殿例祭を肅行しました。
 時期は新型コロナウイルス感染症第二波の影響が心配される最中ということもあり、感染拡大防止の為、例年より規模を縮小して祭典を執り行いました。
 参列者一同、日頃のご加護に感謝し、感染症が一日も早く鎮まるよう祈念しました。

また、神賑行事として、地元南砺市の女声コーラスグループ「ソット・ヴォーチェ」が「越中一宮高瀬神社奉讃歌」を奉唱。功霊殿例祭では、ご遺族参列のなか、「井波松風会」による吟詠が奉納され、参列者一同、英霊に感謝の誠心を捧げました。



井波松風会 吟詠奉納

井波松風会 奉納吟詠詩文

「九段の桜」

至誠烈烈貫乾坤

至誠烈烈貫乾坤を貫く

忠勇譽高靖国門

忠勇の譽は高し靖国の門

花満九段春若海

花は九段に満ちて春海の若し

香雲深处祭英魂

香雲深き処英魂を祭る

(本宮三香)

靖国の宮に御霊は鎮まるも
 折々かえれ母の夢路に

(大江少佐)



女声コーラスグループ「ソット・ヴォーチェ」

令和三年

祭事暦

一月 一日	歳旦祭	一月 三日	元始祭	一月 七日	昭和天皇祭	二月 二日	節分祭	二月 十一日	紀元祭	二月 十七日	祈年祭	二月 二十三日	鎮火祭	三月 八日	春季皇霊祭	三月 二十日	神武天皇祭	四月 三日	春季皇霊祭	四月 十日	昭和天皇祭	四月 十九日	祈年祭	六月 十九日	稲荷社例祭	六月 三十日	夏越祭	七月 七日	七夕祭	七月 二十二日	除熱祭	七月 中	人形感謝祭	八月 十六日	中秋祭	九月 十三日	例祭	九月 二十三日	秋季皇霊祭	十月 三日	村まつり	十月 十七日	神嘗奉祝祭	十一月 三日	明治節祭	十一月 十三日	神明宮例祭	十一月 十五日	七五三祝祭	十一月 二十三日	新嘗祭	十二月 三十一日	師走大祓祭	全	除夜祭	◎毎月一日・十三日 月次祭	◎毎月十三日 交通安全祈願祭
-------	-----	-------	-----	-------	-------	-------	-----	--------	-----	--------	-----	---------	-----	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-----	--------	-------	--------	-----	-------	-----	---------	-----	------	-------	--------	-----	--------	----	---------	-------	-------	------	--------	-------	--------	------	---------	-------	---------	-------	----------	-----	----------	-------	---	-----	---------------	----------------



献穀田だより



拔穂祭

奉耕者 谷川 徹氏
主催 井波地域農業者会
会長 岩崎 修
共催 富山県神社庁
斎場 南砺市南山見
交流センター前

九月二十日午後二時、当神社
献穀田にて拔穂祭を行い、宮司
の祝詞奏上に続き、早乙女五名
が黄金色に実ったコシヒカリを
丁寧に刈り取りました。祭典に
は奉耕者谷川徹氏をはじめ農業
関係者、井頭克彦富山県神社庁
副庁長、長谷川孝徳砺波支部長
が参列、それぞれ玉串を奉りお
参りされました。

収穫された稲は、当神社の新
嘗祭でお供えされ、また十月十
七日には、伊勢の神宮で斎行さ
れた神嘗祭に懸税(カケチカラ)
として奉献されました。



早乙女奉仕者

谷田穂乃香さん (中学生)
高橋 奏乃さん (中学生)
久恵 琴葉さん (中学生)
前田琴々美さん (小学生)
野村 史来さん (小学生)

剣道大会奉告祭

九月二十一日午前九時、高
瀬神社剣道大会奉告祭を執り
行いました。本年は、試合実
施を見送り、武道発展を祈願
する祭りとして祭儀のみ執り
行いました。祭典後、庄西中
学校(昨年度 中学校男子団
体優勝校)より優勝旗の返還
があり、同校の生徒二名によ
る「日本剣道の形」が奉納さ
れました。

日本剣道の形奉納

庄西中学校 剣道部

片山 俊祐 殿
北野 心夏 殿



立皇嗣の礼当日祭

十一月八日午前八時、立
皇嗣の礼当日祭を斎行しま
した。

立皇嗣の礼とは、皇嗣
(皇位継承順位一位)の秋
篠宮文仁親王殿下のお立場
を国内外に宣明する皇室儀
式のことです。当日の十一
月八日にあわせて、祭典を
執り行い、

そのご奉告
と国家隆
昌、皇室の
弥栄を祈念
しました。



金婚祭

例年四月八日に斎行されている金婚祭は本年、コロナウィルス蔓延により延期され、十一月十三日午後二時より斎行しました。祭典には、金婚をお迎えになられたご夫婦と高瀬地区老人クラブ連合会の中嶋光夫会長をはじめ、役員の方がお参りされました。

金婚者

千歳会	四塚 一成	ご夫妻
中嶋幸之丞	弘子	ご夫妻
福寿会	山本 憲治	ご夫妻
静寿会	野村 隆一	ご夫妻
橋場 美智子	美智子	ご夫妻
美智子	美智子	ご夫妻



新嘗祭(大祭)



献穀の儀

十一月二十三日午前十時、新嘗祭を執り行いました。コロナウィルス感染拡大防止対策の為、二十名の参列となりました。

なりましたが、献穀田にて収穫された新穀をお供えし、今年の恵みに感謝しました。

祭典では、収穫された玄米を奉耕者 谷川徹氏、白米を井波地域農業者会 岩崎修会長、白酒を水野敬一副会長がそれぞれご神前に奉持し、お供えする「献穀の儀」が行われました。また参向使は、いなば農業協同組合 家山茂常務理事にご奉仕いただきました。

祭典後、一年間献穀田をお世話いただいた奉耕者の谷川氏に感謝状と記念品を贈呈しました。尚、恒例の農事功労者表彰は行いませんでした。



感謝状授与式

【献穀田奉耕者】
谷川 徹 殿



注連縄奉納奉告祭

十二月二十日午前十一時、注連縄奉納奉告祭を斎行しました。

新年を迎えるにあたり、心を込めて奉製された大注連縄が向拝に張られました。

この注連縄には、奉納講師員の「願い事」が納められており、祭典では、掛け替えの奉告と新型コロナウイルス感染症の終息・商売繁昌・家内安全等講師の願い事を祈願しました。



掛け替えられた大注連縄



御社殿屋根修復 (令和元年十二月〜令和二年十一月三十日) 敬称略
 ご奉賛頂きました皆様へ厚く御礼申し上げます。

特別奉賛金奉納者

〔百万円〕 西田 吉輝	孫崎 紀子	〔二万円〕 海老 雄二	常本 弘美
〔五十万円〕 高尾 克重	片山 良春	高田 実	桑崎 真
〔三十五万円〕 藤井 崇教	小西 宏和	大岩 龍也	桑崎 麻里代
〔三十万円〕 岩倉 和弘	山田 正晴	堀池 良一	小泉 由和
〔十五万円〕 堀元 芳子	〔株〕富山環境整備	森川 さつき	中川 敏雄
〔十万円〕 福光会代表	牧本 雄一	高井 淳夫	伊東 洋行
田中 十三	藤澤 光則	寺脇 英俊	堀 美保子
松田 義則	村中 邦次	TOPモリオカ	長谷川 規子
〔株〕長田組	牧印刷〔株〕	柴田 祐孝	久保 貴美
長田 一政	牧 秀輔	松井 律子	井波 健一
酒泉 義則	〔株〕三万円	小宮 崇一	中川 久明
〔株〕丹保建設	仲村歯科医院	藤田 春枝	中川 遼
〔株〕丹保建設	仲村辰一郎	大久保淳子	尾塩 裕司
〔株〕丹保建設	新井 外弘	藤田 春枝	中川 悟
〔株〕丹保建設	中嶋 綾子	藤田 澄江	尾塩 裕司
〔株〕丹保建設	中嶋 由美子	井上 恵資	島田 芳紀
〔株〕丹保建設	アイ・リンク	小橋 節子	本江 真祐美
〔株〕丹保建設	グループ	マキノ商事〔株〕	篠原 央
〔株〕丹保建設	富賀見 進	牧野 由紀	横井 信也
〔株〕丹保建設	〔株〕森建設	藤田 春枝	中田 真理子
〔株〕丹保建設	森 啓祐	飛驒 文衛	三川 喜美雄
〔株〕丹保建設	加藤 俊明	田中 大介	蚊戸 朋子
〔株〕丹保建設	〔株〕二万円	岡田 春雄	岡田 春雄
〔株〕丹保建設	藤田 春枝	太田 奈緒美	達野 家織
〔株〕丹保建設	脊戸川儀高	島 宏和	市江 桂子
〔株〕丹保建設	岩倉トメ子	岡島 舞子	福室 英之
〔株〕丹保建設	谷村 君子	中島 正範	中田 富美恵
〔株〕丹保建設	藤田 春枝		竹田 典生

銅版奉納者

木下 真唯子	奥 成生	山口 浩貴	狩野 健	結城 清治	小川 大成	角 昌計	小森 靖久	西川 辰男	二上 伊通世	永田 陽子	住田 尚紀	畑山 俊一	川原 勲	高瀬 一郎	武部 一成	朝倉 龍太	村山 法正	小泉 由和	沼沢 光太郎	小泉 伸二	ゆかり	新谷 典子	小西 廣子	清水 正美	高橋 太	堀 敦雄	金平 剛	渡邊 誉也	有澤 誠司
坂倉 春樹	坂倉 大士	高井 康治	野崎 光	新井 弘	佐々木 智彦	大橋 征雄	山田 勇	高橋 永都	高橋 永都	宮本 時美	望井 里子	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希	高井 勇希
森 千恵	河野 千恵	平井 信直	瀬川 信直	草花 信直	澤田 信直	高橋 信直	止藤 信直	川邊 信直	倉本 信直	富田 信直	仲川 信直	青木 信直	藤井 信直	南野 信直	穴水 信直	高井 信直	高井 信直	高井 信直	高井 信直	高井 信直	高井 信直	高井 信直	高井 信直	高井 信直	高井 信直	高井 信直	高井 信直	高井 信直	高井 信直
河上 好昭	島田 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭	古島 好昭

※奉賛金・銅板奉納は随時受付ておりますので、ご奉納をお願い致します。

令和3年 厄年・身祝一覧

(厄年) 数え年

	前 厄	本 厄	後 厄
男	24歳 平成10年(寅) 41歳 昭和56年(酉) *60歳 昭和37年(寅)	25歳 平成9年(丑) 42歳 昭和55年(申) *61歳 昭和36年(丑)	26歳 平成8年(子) 43歳 昭和54年(未) *62歳 昭和35年(子)
女	18歳 平成16年(申) 32歳 平成2年(午) *36歳 昭和61年(寅)	19歳 平成15年(未) 33歳 昭和64年(巳) *37歳 昭和60年(丑)	20歳 平成14年(午) 34歳 昭和63年(辰) *38歳 昭和59年(子)

※数え年とは、満年齢に誕生日前には2歳、誕生日後には1歳を加えた年齢です。
 ※*…この年を厄とする地域もあります。

(身祝) 数え年

	年齢	生まれ年
還暦	61歳	昭和36年(丑)
古希	70歳	昭和27年(辰)
喜寿	77歳	昭和20年(酉)
傘寿	80歳	昭和17年(午)
米寿	88歳	昭和9年(戌)
卒寿	90歳	昭和7年(申)
白寿	99歳	大正12年(亥)

※男女ともに祝います。

同級生と厄祓

同窓会や里帰りに合わせ、同級生との「厄祓」を受け付けております。
 年頭にあたり、ご友人とお揃いでご祈禱をお受け下さい。

期 間

二月二日 節分まで
 午前九時から午後四時三十分まで

祈禱料

五千円より
 ご志納願います。

節分祭 (豆まき)

二月二日 午後三時 齋行

祭典終了後には福豆・福飴を授与しますので、ご家族お揃いで、是非ご参列下さい。

※本年は二月二日となりますのでご注意ください。

戌の日 (安産祈願)

1月2・14・26日
 2月7・19日
 3月3・15・27日
 4月8・20日
 5月2・14・26日
 6月7・19日

腹帯のお祝いも行いますので
 ご持参下さい。

奉納

○「初穂米」

氏子 岩倉 勲 殿

立山町半屋

村木 謙一 殿

岐阜市関市

小石 達人 殿

○「神饌米」

井波地域農業者会 殿

奉耕者 谷川 徹 殿

氏子 岩倉 和弘 殿

○「里芋」

河原 祥滋 殿

○「大注連縄」

高瀬神社注連縄奉納講

注連縄奉賛者

株式会社縄合屋

有限会社石森石材

株式会社越路ガーデン

チューリップ交通株式会社

森田建設株式会社

となみ観光交通株式会社

日の出屋製菓産業株式会社

有限会社さつき堂

株式会社九谷屋

中村屋

株式会社島川

ニューイングランドたかた

藤森工業株式会社

庄川自動車株式会社

センダン電子株式会社

オーバル

株式会社三楽園

旅亭みや川

有限会社丹保建設

富山総合ビルセンター株式会社

有限会社志見建設

農事組合法人ファーム八乙女

アルカスコーポレーション株式会社

有限会社庄川建鋼

宮窪電気商会

アンヘルハート

株式会社ブライダルコアあなだ

有限会社スタジオSAO

西部 英子

石川 恵明

岡田 春雄

○「拝殿注連縄」

富山市八尾町

平井 吉弘 殿

○「菊花」

橋場 哲也 殿

松平 信一 殿

○「干支(丑) 絵」

小矢部市鴨嶋

森川外茂男 殿

○「日章旗」

氏子 大和彌壽夫 殿

○「干支(丑) 大絵馬」

南砺市山下

南部 榮 殿

富山市古鍛冶町

大谷美術学園

園長 大谷 弓子 殿

砺波教室の皆さん

各種お問い合わせにつきましては、
 社務所へご連絡下さい。

(〇七六三) ハニ一〇九三

社報バックナンバー

当神社ホームページで

ご覧頂けます。

【表紙写真】

干支(丑)大絵馬と

大谷美術学園の皆さん



結びの杜の神前式



日常の喧噪を隔てる境内で、参進の儀にはじまり
社殿に響き渡る雅楽の調べのなか、厳かな神前式が叶う
大国様の「結び」の御神徳により、両家の絆も強く結ばれる

一日一組のプライベート空間

◆◆ 新参集殿 ◆◆

すべては一組の新たな夫婦の幸福のために



只今ご予約受付中

あなたの人生に、神社がある。越中一宮 高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291
ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社

🔍 検索